

令和6年度「かながわ探究フォーラム」への参加

令和7年3月16日（日）13時～17時の時間帯で、横浜国立大学を会場として、「かながわ探究フォーラム」が行われました。県内のスーパーサイエンスハイスクール(SSH)指定校、理数教育推進校、県外からは東京都立高校、長野県立高校、私立高校等の生徒がポスター発表を行いました。「かながわ探究フォーラム」は、先進的な事例を広く共有し、参加生徒の探究の過程に関する理解を深め、研究意欲や知的好奇心を喚起するとともに、参加校の生徒に求められる課題解決力、創造力、プレゼンテーション能力等のより一層の向上を図るため、スーパーサイエンスハイスクール（SSH）や理数教育推進校等における生徒の探究的な学習活動の成果発表会として行われています。

本校からは2年生2グループ、1年生1グループが参加しました。今年度の「かながわ探究フォーラム」も対面で行うことができ、多くの生徒や教員、大学教員に囲まれても本校の生徒たちは堂々と発表している様子が見え、また質問されても一生懸命にかつ丁寧に答えようとする姿を見ることが出来ました。ポスター発表にも慣れてきた様子です。大学の先生に助言を頂いたり、他校の生徒からの質問をしてもらったりすることで、新たな気付きや、研究目標ができて、学びが深まった様子でした。発表されていた研究も多岐にわたっており、様々な分野で興味深い研究が多くありました。後半の招待発表では、昨年8月のSSH生徒研究発表会でポスター発表賞を受賞した、県立多摩高等学校の生徒が2年間にわたる研究成果の発表を行いました。素晴らしい成果を残した先輩方の発表を、生徒たちは真剣に聞いていました。

全体講評では、横浜国立大学の先生が「探究活動は学んでいく過程にこそ価値がある。」と述べられて、研究を進めるポイントについてアドバイスをして下さいました。これからも、探究を通して何を明らかにしていきたいのか、動機をしっかりと踏まえた上で、失敗を恐れずにチャレンジしてほしいと思います。





